PART2　漢詩の基礎知識

一　漢詩の基礎知識

A　「形式」

①　五言詩（一行五文字）／七言詩（一行七文字）

②　**絶句**（**四行**）／**律詩**（**八行**）／古詩（それ以外）

＊「一行の字数」と「行数」から①と②を組み合わせて答える。
（例）五言絶句・七言律詩…など。

B　**「押韻する字」**…音読みしたときに音の響きが同じ

①　五言詩＝**偶数句の末字**

○○○○○
○○○○●
○○○○○
○○○○●

＊●＝押韻している文字

②　七言詩＝**（初句と）偶数句**の**末字**

○○○○○○●
○○○○○○●
○○○○○○○
○○○○○○●

C 「対句の見分け方」

奇数句・偶数句の順で**返り点の打ち方が同じ**（ただし、再読文字を含むときは除く）場合は、ほぼ対句（＊例外も多いので注意）。**品詞・文構造・意味内容ともに対称**である点がポイント。

＊律詩（八行）の場合、**「三句と四句」**と**「五句と六句」**が原則として対句。

たとえば、李白の「送友人」は「一句と二句」「五句と六句」が対句で、このように例外もあります。両方でも、どちらかでも、また、それ以外の「一句と二句」や「七句と八句」も対句になっている場合も、対句は見ればわかるはずですので、「対句の見分け方」をしっかりおさえて確認してください。

D 「段落分け」

① 四行＝一行ずつ（**起承転結**）

② 六〜十行＝二行ずつ　＊律詩➡首聯（しゅれん）・頷聯（がんれん）・頸聯（けいれん）・尾聯（びれん）

③ 十二行以上＝四行ずつ

★主題は最終段落

E 「意味のまとまり」

① 五言詩＝２・３　（例）十月鷹出籠

② 七言詩＝２・２・３　（例）炎（えん）涼（りやう）昏（こん）暁（げう）苦（はなはダ）推遷（シ）

注　推遷…移り変わる。

二　次の詩を読んで、後の**問**に答えよ。

沙場征戍客
寒苦若為眠
戦袍経手作
知落阿誰辺
蓄意多添線
含情更着綿
今生已過也
結取後身縁

問一　この詩の形式を答えなさい。

問二　韻字をすべて抜き出しなさい。

問三　対句が何組用いられているか、答えなさい。

三　詩を読んで、次の**問**に答えよ。

我来リテ二揚子江頭ニ一望メバ
一片ノ白雲数点ノ□
安得丁置キ二身ヲ天柱頂ニ一
倒（さかしまニ）看ルヲ丙日月ノ走ルヲ乙人間ヲ甲

注　揚子江…長江の別名。
　　天柱…神話の中に出てくる、天を支えているという柱。

問一　この詩の形式を答えよ。

問二　傍線部「一片白雲数点□」について、（a）空欄に入る語と、（b）この句全体の解釈との組み合わせとして最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　（a）淡――（b）白い雲の切れ間から数本の淡い光が差し込んでいる。
イ　（a）楼――（b）空の片隅に浮く白い雲と幾つかの建物が見えている。
ウ　（a）雨――（b）白い雲が空一面に広がり雨がぽつぽつと降り始める。
エ　（a）山――（b）ひとひらの白い雲と幾つかの山があるばかりである。
オ　（a）鳥――（b）空には一つの白い雲が漂い数羽の鳥が飛んでいる。

第7講 PART2 確認問題

① 詩の形式として最も適当なものを、次の中から選べ。

春眠不レ覚レ暁
処処聞二啼鳥一
夜来風雨声
花落知多少

ア　五言絶句　　イ　五言律詩　　ウ　七言絶句　　エ　七言律詩

② 詩の空欄に入る語として最も適当なものを、次の中から選べ。

涼州詞　　王翰（わうかん）

葡萄美酒夜光杯
欲レ飲琵琶馬上催
酔臥二沙場一君莫レ笑
古来征戦幾人［　　］

ア　山　　イ　回　　ウ　上　　エ　狐

③　次の詩の中で、対句になっている句の組み合わせとして適当でないものを、次の中から選べ。

春望　杜甫（とほ）

第１句　国破レテ山河在リ
第２句　城春ニシテ草木深シ
第３句　感ジテハレ時ニ花ニモ濺（そそ）ギレ涙ヲ
第４句　恨ンデハレ別レヲ鳥ニモ驚カスレ心ヲ
第５句　烽火連ナリ二三月（さんげつ）ニ一
第６句　家書抵（あた）ル二万金ニ一
第７句　白頭掻ケバ更ニ短ク
第８句　渾（すべ）テ欲スレ不ランレ勝（た）ヘレ簪（しん）ニ

ア　第１句と第２句　　イ　第３句と第４句　　ウ　第５句と第６句　　エ　第７句と第８句

④　詩の主題はどの句に現れているか。最も適当なものを、次の中から選べ。

贈(ル)二※汪倫(わうりん)(ニ)一　李白(りはく)

第1句　李白乗(ツテ)レ舟(ニ)将(まさニ)欲(ス)レ行(カント)　（私が舟に乗って、ちょうど出発しようとしているとき、）

第2句　忽(たちまチ)聞(ク)岸上※踏(たふ)歌(かノ)声　（突然岸辺の方で人々が足を踏みならしながら歌う声が聞こえる。）

第3句　※桃(たう)花(くわ)潭(たん)水(すい)深(サ)千尺　（桃花潭の水は、深さが千尺もあるということだが、）

第4句　不(レ)及(バ)汪倫送(ルノ)レ我(ヲ)情(ニ)　（汪倫が私を見送ってくれるこの情愛の深さには、とても及ばないだろう。）

注　汪倫…人名。李白が桃花潭を訪れたときにもてなしてくれた人物。
踏歌…人々が足を踏みならしながら歌をうたうもの。
桃花潭…地名。

ア　第1句　　イ　第2句　　ウ　第3句　　エ　第4句

⑤ 傍線部の、意味のまとまりの区切りとして最も適当なものを、次の中から選べ。

別（わかル）二董大（とうだいニ）一　高適（かうせき）

千里ノ黄雲白日※曛（くらク）

北風吹（イテ）レ雁（かりヲ）雪紛紛

莫（カレ）レ愁（うれフル）前路無（キヲ）二知己一

天下誰人（カ）不（ラン）レ識（しラ）レ君（ヲ）

注　曛…薄暗くくすんでいる。

ア　千里黄／雲白日曛

イ　千里黄／雲白／日曛

ウ　千里／黄雲／白日曛

エ　千里／黄雲白／日曛

第７講　PART２　解答

二

問一　五言律詩　**問二**　眠・辺・綿・縁　**問三**　一組

三

問一　七言絶句　**問二**　エ

〈現代語訳〉

二

戦場で国境の守備につく兵士よ、寒く辛い中、どのように寝ているのですか。軍衣は私の手作りですが、誰の元に届くのか知ることができましょうか。思いを込めて糸をたくさん使って縫い、気持ちを込めてさらに多くの綿を入れました。現世ではすでに別れて過ぎてしまいましたが、来世で夫婦として縁を結びましょう。

三

私は揚子江のほとりに来て望見すれば、ひとひらの白い雲と幾つかの山があるばかりである。我が身を天柱の先端に置いて、太陽や月が人間界を巡っていくのを上から逆に眺めてみたい。

第７講　PART２　確認問題　解答

〔解説〕

①　一行が五文字なので五言詩、四行の詩なので絶句。よって、アが正解。

②　七言詩なので初句と偶数句の末字の音の響きが同じになる（押韻）。初句の末字は杯（hai）、第二句の末字は催（sai）。選択肢の中で「ai」の音になるのはイの「回」（kai）。よって、イが正解。

③　奇数句・偶数句の順で返り点の打ち方が同じであればほぼ対句であり、律詩（八行）の場合は「第３句と第４句」か「第５句と第６句」のどちらかは必ず対句である。イ・ウは両方ともそれぞれ返り点の打ち方が同じで構成要素も同じなので対句。アは、返り点はないが構成要素が同じなのでこれも対句。返り点の打ち方も構成要素も異なるのはエ。よって、エが正解。

④　漢詩の主題は最終段落にある。四行の詩（絶句）は一行を一段落と捉えるので、四行目に当たる第４句が主題。よって、エが正解。

⑤　七言詩の場合、一つの句の意味のまとまりは２・２・３となる。よって、ウが正解。

〔解答〕

①　ア　②　イ　③　エ　④　エ　⑤　ウ